”世知原っ子に「夢」と「笑顔」と「達成感」を”

夢をもち，心豊かで，たくましく生きる子どもを育成する

# 開知

○笑顔いっぱい
○学びいっぱい
○元気いっぱい

世知原小だより第１５号　平成３０年６月２０日文責　久保 克則

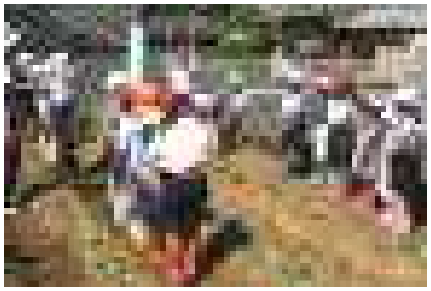
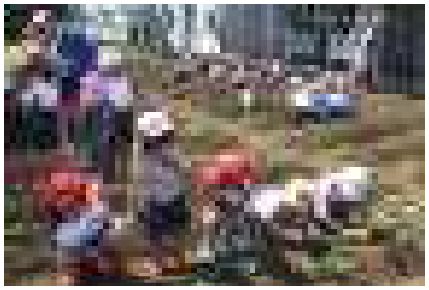
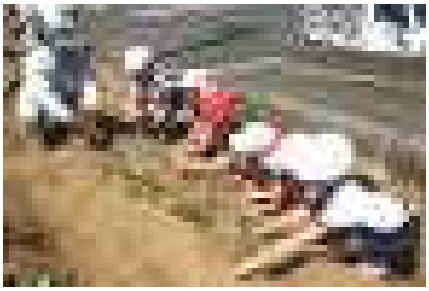
## 保幼小連携で交流しました



「小１プロブレム」という言葉を聞かれたことがあられると思います。その前から取り上げられていた「中１ギャップ」と意味が似ているということで名付けられたようです。**小学校１年生の子どもたちが，学校生活に適応できないために起こす問題行動をさします。遊びから学びに生活の中心が変わり，幼児教育から小学校教育へ指導が一変する段差を乗り越えられないために起こる問題とされています。この問題を保育園，幼稚園と小学校の双方が理解･協力し，子どもに最善の利益となるよう配慮していく「保幼小連携」が行われるようになりました。**

本校でも，世知原保育園とゆりかご保育園さんと年度当初に話合いをし，１年間，相互にさまざまな交流活動を実施することで，年長園児が小学校の様子を知り，身近に感じて，入学への期待をもつことができるようにしています。

**５月１３日（水）には，１年生が世知原保育園の年中，年長の子どもたちと「芋さし」をしました。**学校近くに借りている畑で，学校管理員の福田さんに芋の苗の植え方（根っこから半分ぐらいを土に中にいれ，葉っぱを出して土をかぶせます）を教えてもらって，いざグループごとに植えていきました。最初は，少し戸惑いがちの様子が見られましたが，すぐに１年生が保育園生を優しく手伝って，上手に植えていました。１年生は，頼りになるヒーローに映ったのではなのではないでしょうか。芋さい」が終わった後，保育園児が先生に引率されて，学校探検をしてくれました。いろいろ見て目が輝いていて，帰る際は私と元気にあいさつができました。

**５月１５日（金）には，５年生が世知原保育園とゆりかご保育園の２つに分かれて，園児と交流しました。**この日のために，**５年生の子どもたちは，園児たちのことを思いながら，自分たちでゲーム（じゃんけん，魚釣り，輪投げ）などを考え，準備や役割分担をし，当日の進行も行いました。**園児たちは，お兄さん，お姉さんと楽しく一緒にゲームを楽しんでいました。多分，園児たちには５年生が憧れの存在だったと思います。

